



## 「近者説、遠者来」



高松市長

大西 秀人

「近き者説（喜）び、遠き者来る」。

論語の中の一節で、私が、3年前に始めたブログのタイトルにもしている、座右の銘の一つです。孔子が、葉公に「政治の要諦とは何か。」と問われ、「近い者が喜びを抱き、その噂を聞いて、遠くの者が自然にやって来る。そのような政治ができれば、それが一番いいことだ。」と答えた、というものです。

この言葉に私が再会して惚れ込んだのは、20年近く前、岐阜県庁に勤めている時でした。地域振興を如何に盛り上げていこうか、何か依るべき思想、方針はないだろうか、と検討していたときに上司が持ち出してきて、「これだ」と飛びついたものです。

世はバブルの絶頂期で、空前のリゾート・ブーム。いわゆるリゾート法（総合保養地域整備法）の下に、全国あちこちで、金太郎飴的なスキー場（あるいはマリーナ）、ホテル、ゴルフ場をセットとした絢爛豪華なリゾート施設が整備されていました。岐阜県は、事情もあって、このリゾート法の指定による開発は行わないことにしたのですが、その後のバブル崩壊とリゾート施設の成れの果てを見ていると、ある意味正解でした。

当時のリゾート開発は、そのほとんどが、地元の地域住民の日常的生活や思いとはかけ離れていたように思います。施設の規模も大きすぎるし、料金も高すぎて、とてもその近隣地域の住民がそれらを利用して快適に生活できるものとは、思われませんでした。案の定、結局は一部を除いて、「誰も喜ばず、遠き者も来ず」に終わりました。

地域振興に王道はありません。こうやれば、絶対上手くいく、と言うものはありません。それぞれの地域において、自らを見つめ直し、持っている資源を活用しながら、どうしたら自分達にあった、より良い地域づくりができるのかを考え、進むべき道を見つけていくしかないのです。

すべての市民が暮らすことに誇りの持てるようなまちづくりを進め、多くの高松市民が喜びを分かち合え、遠き者が自然と訪ねて来るような、そんな「まち」にできればいいなあ、と思っています。

（大西ひでと公式ウェブサイト：[www.oi-hideto.com/](http://www.oi-hideto.com/)）